

戦後50年 私たちの大震災誌  
 『カハミナコト』 目次

プロポング「阿鼻叫喚一九四八・六・一六」  
六条村震災記念碑に想う 阿比野川勝巳

1 全滅のまち  
全壊100% 内全焼50%  
 TOKYO  
丸圍 1948.6.28

国神社のタブの木さんの話です  
丸圍 福井地震震災源地神社  
 フォト 折れたままの新田義直公大石碑・直後の丸圍

2 戦災十連続二重被災都市  
ダブル 福井県  
丸圍 全国戦災史 震災史に例なし

フォト 戦災直後と震災直後の福井城近辺。  
 私たちの戦災遺跡発見が震災史道跡発見へ。  
 文字より福井の街角にある戦争と震災史道跡  
 丸圍町にもあった！  
 鯖江市の陸軍地下工場跡が今は大震災観測所。

### 3

福井震災のシンボル遺跡は消えてしまった

「福井都市づくり論」より。城跡保存を。(震災の遺跡のシンボル) 福井県議会は市民の声を無視して全面修復へ。姿を現した遺跡の底。フォト

### 4

戦後50年震災後4年、私たちが語りつづけて

伝える(111)

### 5

『震災の語り』と『震災の語り』

関東大震災の被服廠の惨状(写真)自筆家(公)「そのとき私は」白井益子  
紹介「大正震災のかるた」のこと。松村茂

「UTA-KATA」一九四八・セニ〜セニの日記「高橋政子

「もんちゃんおぼはちん」抄出「中野鈴子

「その時」抄出 加藤忠夫

「あのとき、大和百貨店六階で」木村マサ子談

「入院中に福井地震」白井益子

福井大震災救援隊長実記 抄出 城戸昇

# 6 一九九五年一月二七日大震災／まなみの緊急記録 146

「まるでこの日が誕生日　―母の幼な日の記録として娘たちに―」	吉村直江（福井市）	146
「つらさが今も　―祖母の死―」	江川愛（坂井町）	152
「あの人たちの姿は自分だ」	酒井美樹子（丸岡町）	154
「震災とおばさんと愛染かつら」	林広員（清水町）	154
「一度ならず二度三度　―空襲・地震・洪水を体験して―」	小川美津恵（福井市）	155
「福井大地震の思い出」	沢崎宏之（神戸市）	158
「地震列島に生きて」	大久保京子（大野市）	160
「文明とはいったい何なのか」	日下新介（札幌市）	162
「三国高校併設中学校に通っていた　―福井地震の思い出―」	海渡富佐枝（金津町）	164
「父母から毎年地震体験を　―体験を次世代に―」	正田喜代子（神戸市）	166
「あの太陽の紅さは」	幸木露華（福井市）	168
「一月一七日、その日」	野村澄子（大阪・島本町）	170
「お便り、ありがとうございます。―加藤忠夫様―」	黒田利子（神戸市）	171
「阪神大地震で福井地震を思う」	村住仙一（草津市）	172
「本当なんだ、現実なんだ。」	中村淑子（滋賀・野洲町）	175

# 7

## 測候所長の地震レポート

三重・上野測候所長

田島伸浩  
自宅・金津町

そのとき、上野測候所で。  
気象庁発行の資料他と解説。

「今、なにをどうすべきなのか」……………	加藤 博務(千葉・松戸市)	176
「医療生協、民生連と震災救援活動」……………	吉田 一夫(敦賀市)	177
「馬小屋で生まれた弟」……………	谷 中辰子(福井市)	178
「測量士として体験を考える」……………	関 剛(京都・長岡京市)	180
「空襲で。地震で。―福井地震回想―」……………	清 水 美恵子(大津市)	183
「備えはどうしたらよいか。―妹は福井地震で―」……………	辻 信 江(福井市)	185
「敦賀原発は安全だというけれど」……………	立 石 百合子(敦賀市)	186
「ご遺体を積んだ上空のヘリ群」……………	松 村 茂(京都市)	187
「君の大丈夫はあてんならんノ―福井震災前後の生活―」……………	本 谷 信 雄(福井市)	188
「じんみをたいせつにしろ ―もしも、ぼくが―」……………	荒 川 勝 巳(福井市)	192
「こんな非常事態だからこそ、真価が」……………	酒 井 敏 光(丸岡町)	194
「真実から学ぶ」……………	渡 辺 真知子	196
「ふるさとの焼失 ―阪神大震災記―」……………	伊 藤 秋 二(神戸市)	200

8

「福井大震災」  
by 福井大震災伝説画報 48・8・1刊

安田輝雄氏(「画報」発行人)談

by「福井大震災伝説画報」48・8・1刊

232

9

「水つきの朝」

昭和23年9月27日

254

10

「福井県医療生協 阪神大震災被災地で救援活動」

福井光陽生協病院にて、技師 望原平一郎

259

11

「まっひとつの福井大震災史」  
「オレは法律家」

270

エピソード涙したる 184